

「尖閣諸島周辺に中国公船6隻、漁船230隻」をテレビ報道はどう伝えたか、伝えなかったか



去る8月6日午前、沖縄県・尖閣諸島周辺の接続水域に「中国海警局」の船6隻が入り、その周辺を中国漁船約230隻が航行しているのを海上保安庁が確認、外務省が中国側に抗議しました。

この事案について「テレビ報道がほとんど取り上げなかった。重要な事案なのにおかしいのではないか」との意見が当会に寄せられました。

そこで、8月6日の当日、在京キー局各社がこの件をどのように伝えたか、あるいは伝えなかったかについて調べてみました。(文中及び表中の時間表記は当会による計測結果。1つのニュースの途中でCMに入る場合、CMの時間は除外)。

1. 各局の報道

◆NHK

午後6時から10分間のニュースで初めてこの件を伝えました。(1分30秒)

NHKニュース(午後6時6時10分)

38度超の猛暑日 明日も熱中症警戒 1分35秒

熊本空港で小型機 着陸に失敗 けが人1人 1分40秒

接続水域に中国海警局の6隻 周辺に漁船約230隻 外務省 中国大使館に抗議 1分30秒

「原爆の日」ワシントンでも追悼式 1分33秒

リオ五輪 日本人ボランティアも活躍 2分05秒

民進党 岡田代表 蓮舫氏支持の考えにじませる 1分08秒

一方、午後7時からの30分番組「ニュース7」では、この件を全く報道しませんでした。トップで取り上げたリオ五輪の話題には約10分を割き、続いて「広島原爆の日」の話題を約6分、「熱中症に警戒、大気不安定」という気象の話題を4分50秒伝えました。さらに、相模原市での障害者殺傷事件の続報、米中の外相が北朝鮮への対応を協議した件、熊本空港で小型機が着陸に失敗し1人が怪我をした件、元横綱千代の富士の通夜について伝えましたが、結局、尖閣諸島の件には一切触れませんでした。

午後8時45分から9時までのニュース番組でも、尖閣諸島の件は取り上げませんでした。しかし、オリンピック中継の合間の翌午前1時2分から7分までの5分間のニュースでは、トップでこの件を扱いました（1分30秒）。

「接続水域に中国海警局の7隻 周辺に漁船 約300隻 外務省 中国側に重ねて抗議」として、午後からの新たな動きを加えた報道を1分30秒行いました。その後は「ボートが防波堤に衝突 11人けが」とのニュースと、オリンピックの話題を伝えました。

◆日本テレビ

この日、尖閣諸島のニュースは一切報道しませんでした。

この日の報道番組は「ウェークアップ！ぷらす」（午前8時9時25分）「NNNストレイトニュース」（午前11時25分35分）「news every.サタデー」（午後5時5時30分）「Going!Sports&News」（午後11時55分翌午前1時5分）がありました。そのいずれでも尖閣諸島の案件は取り上げませんでした。

◆TBS

午後5時30分からの「報道特集」の中で尖閣諸島のニュースを伝えました（43秒）。

この番組では毎週、長時間を割いた特集が放送されますが、特集の前に放送される通常のニュースの枠内で、尖閣の事案が伝えられました。

報道特集（午後5時30分7時）

被爆71年広島原爆の日 「オバマ演説」引用の平和宣言 3分17秒

「南米で初 リオオリンピック開幕／会場の外で見えてくる課題」 3分51秒

列島各地で今年一番の暑さ 1分00秒

米シカゴ 丸腰の黒人男性に警官が… 1分13秒

障害者施設殺傷事件 入所者の家族ら対象に説明会 1分25秒

熊本空港で小型機事故 1人けが、滑走路は閉鎖 41秒

尖閣周辺の接続水域に海警局含む中国船 236隻 43秒

NYでもヒロシマ犠牲者追悼集会 1分00秒

神奈川・小田原市 トランクと衝突 原付きの男性死亡	5 5秒
トランクと衝突 タクシー乗客の女性らけが	5 1秒
(特集) ヘリパッド建設工事「やんばる」の森で何が	1 9分4 5秒
(特集) 原爆投下当日に走った列車	2 7分5 1秒
リオ五輪	2分4 3秒
メジャーリーグ（イチロー）／プロ野球	1分1 3秒

この後の報道番組は、午後8時54分から9時までの「フラッシュニュース」と、午後10時から11時24分までの「新・情報7Days ニュースキャスター」がありましたが、いずれにおいても尖閣諸島の件は報道されませんでした。結局、この日TBSが本件を伝えたのは「報道特集」の中での43秒だけでした。

◆テレビ朝日

午後4時30分からの「スーパーJチャンネル」で尖閣諸島の件を取り上げました（55秒）。	
スーパーJチャンネル（午後4時30分6時）	
リオ五輪	15分40秒
各地で体温超えの暑さ	2分17秒
(週刊ニュースランキング) 住宅街を鹿が爆走	1分20秒
(週刊ニュースランキング) ニホンザルで初確認、睡眠中の”微笑”	1分08秒
(週刊ニュースランキング) パラシュートなし世界初のスカイダイビング	5 2秒
(週刊ニュースランキング) 妻夫木聰さん結婚へ お相手はマイコさん	1分20秒
(今週の注目) 小池清都知事に都議会のハードル／どうなる？東京五輪経費	6分07秒
(週刊ニュースランキング) TOKIO 山口達也さん離婚『すべて自分の甘さ』	1分15秒
ロボットが世界を変える！？	15分58秒
地下鉄駅で天井崩落（中国・上海）	35秒
逮捕 飲酒事故の前に当て逃げか	45秒
(リオ五輪) ついに開幕 直前まで大混乱	45秒
8万大観衆 史上最多の参加 開会式はブラジル歴史を…	4分32秒
夏本番アツい！35度以上が今年最多	3分38秒
広島で「原爆の日」	3分19秒
侵入 中国漁船230席が／尖閣周辺に中国船230隻 ”武器搭載”の海警船舶も	5 5秒

“山の日”前に注意を 1分00秒
スポーツ（リオ五輪等） 2分11秒
小型航空機が着陸失敗 60代の男性1人がけが 53秒
痴漢 神戸市職員の男逮捕 1分04秒
相模原 現場の施設で保護者会 57秒
体験 夏休みの子どもに科学を 1分11秒
天気 2分55秒

この番組では尖閣諸島の事案を報道するまでに、番組開始から約1時間12分が経過しました。番組途中の午後5時から放送地域が変化するため、仕切り直しのようにリオ五輪関連と猛暑の話題を再び放送し、次の「原爆の日」の話題の後に尖閣の事案が取り上げられました。

◆フジテレビ

「みんなのニュース」（午後5時30分6時）で取り上げました（44秒）。
みんなのニュース（午後5時30分6時）
リオ五輪 8分11秒
被爆から71年 平和記念式典／オバマ氏と抱擁 被爆男性の思い 4分45秒
113地点で猛暑日 東北九州で猛暑 1分36秒
小型機が着陸に失敗 29秒
被害者と面識なし 84歳女性殺害 1分24秒
あと2本 達成は持ち越し イチローきょうも 26秒
障害者施設殺傷 入所者の親族に向け説明会／4月にも衆院議長公邸訪れ・・・ 1分15秒
安倍首相「核保有・検討もあり得ない」 59秒
尖閣周辺に中国公船 政府 中国側に厳重抗議 44秒
フランスのバーで火事 13人死亡 45秒
天気 2分03秒
世界最大級 アイドルフェスティバル 58秒

◆テレビ東京

尖閣諸島のニュースは一切報道しませんでした。この日のニュース番組は午前11時から11時3分までと午後5時20分から30分までの「TXNニュース」だけで、いずれも「リオ五輪」と「原爆の日」の話題のみ報道しました。

2. 所感

以上の検証の結果、テレビ東京と日本テレビ以外では当日の尖閣諸島周辺の事案を取り上げていたことがわかりましたが、いずれの報道番組でも扱いは小さかったと言えます。まずこのことに対して疑問を感じずにいられません。

当会の発足時に取り上げた「安全保障法制」に関する報道は、多くの報道番組が積極的に行い、特に一部の放送局が非常に大きな時間を割いて報じ続けていました。それほどテレビ報道従事者の関心が安全保障の問題に対して高いことから考えると、今回の尖閣諸島周辺の事案に対しては、あまりにも反応が鈍いと言えるのではないでどうか。

また、この件に関する報道が、ほとんど海上保安庁と外務省の発表内容を伝えただけであったのも気になるところです。映像も、第11海上保本部が提供した静止画像や、過去に撮影された尖閣諸島の資料映像のみを使用した報道ばかりで、現場の映像を捉えた放送は一つもありませんでした。

最近、尖閣諸島の問題に対して国民の関心はあまり高くなく、多少の状況変化には慣れてしまっているということも否めませんが、この度のこととは「異例の事態」には違いないのであって、最大でも1分半ほどの報道しかないということで良いとは思えません。当会スタッフで、海外生活の経験が長い一人は「他国にこんなことが起こったら緊急報道特番が放送されるはず」と言います。しかし我が国では、平日よりもニュース枠が少ない土曜日の番組編成に変化は全くありませんでした。せめて、有識者の話を電話で聞くぐらいのことをする局があっても良かったのではないかでどうか。

この日はリオデジャネイロ五輪が開幕した日で、多くの報道時間がオリンピックに割かれることはやむをえなかったでしょう。中国側の行動もそのことを計算に入れてのことであろうとも推察されます。しかし、そうだとすれば、今回の各局の姿勢は、中国側の思惑にすっかりはまってしまったことにもなります。

ところで、この日の報道の中で不可解なのがNHKの報道の仕方です。午後6時からの10分間のニュースと、翌午前1時2分からの5分間のニュースでは本件を取り上げているのに、午後7時からの30分間のニュースと、8時45分から15分間のニュースでは取り上げなかつたのはなぜでどうか。

この日の午後になって、接続水域に入った中国公船が6隻から7隻に、漁船が200隻から300隻に増え、外務省が重ねて中国側に抗議したという事態の変化がありました。この変化を踏まえた続報を午前1時2分から5分間のニュースではトップで報じているところを見ると、この事案の重要性は相当程度認識していると思われるのに、最も多くの人に視聴されている時間帯の2つの報道番組では取り上げなかつたというのは、実に中途半端で不可解な報道姿勢と思わざるをえません。

また、この日接続水域に潜入した中国公船は、「外見上3隻が武器を搭載していた」という事実について、TBS及びテレビ朝日の報道では言及していましたが、NHK及びフジテレビの報道では言及がありませんでした。外務省が発表した事実から、この件を省略して報じる理由がわかりません。この事案が安全保障上の脅威を孕んでいることを示す重要な事実なので、報道するからにはこの件には言及するべきであったと考えます。

オリンピックは当然、国民の高い関心が見込まれる事柄であり、また「原爆の日」は我が国の社会通念上、必ず報道されるべき事柄ではあります。しかし、何が起きてもこの2件だけ大きく報じておけば良いというわけではありません。

今回の「無報道」、または「短時間での報道」が、単に無関心によるものなのか、なんらかの理由に基づく意図的なものなのか計り兼ねますが、この度の事案のような、安全保障に関わる異例の事態に対して、視聴者の関心を喚起する報道を行うことこそ、国民の「知る権利」に資する報道と言えるのではないでしょうか。

3. NHK及び日本テレビへの質問と回答

上記の調査に基づいて、当会はNHKに対し、8月6日の放送について以下2点の質問をしました。

質問1

7時のニュースはゴールデンタイムとされ、夕食時に見るなど視聴率も高い時間帯であるが、この時間に、関心の高い中国船侵入に関するニュースを外した理由をお聞かせください。

質問2

外務省発表によると、船が武器を搭載しているという情報があるが、この事実に触れなかった理由をお聞かせください。

これに対し、NHKの回答は以下の通りでした。

放送法遵守を求める視聴者会 御中

件名:ご質問へのお返事

連絡事項

NHKでは、ニュース報道については報道機関として自主的な編集判断に基づいて放送しています。また、放送にあたっては国内番組基準を設け、この中で、何人からも干渉されず、不偏不党の立場を守って、故迭による言論と表現の自由を確保し 豊かで、よい放送を行う旨を明記しています。この基準に基づき、報道の担当責任者が具体的な対応を絶合的に判断

し、ニュースおよびニュース番組を制作しています。 実際の業務運営においては、それぞれの責任者が時間帯ごとに、担当者とも協議しながら、その日に起きたきまぎまな分野のニュース全般を見渡しつつ、さまざまな要素を勘案し、重要度や緊急度、さらには視聴者の関心の度合いや広がりといった要素をもとに総合的に判断し、限られた放送時間に収めるようにしています。

個別のニュースや番組の編集判断を明らかにすることは、放送の制作・編集についての自由が損なわれるおそれもあることから、従来からお答えしておりません。

なお8月6日（土）に「中国海警局の船6隻が接続水域に入ったことが確認され、外務省が中国大使館に抗議した」という内容の第1報を18時の全国ニュースで報じて以降、7日（日）午前1時の最終ニュース、おはよう日本の7時台で報じました。その後、「7日午前中に、うち2隻が日本の領海に侵入したことが確認された」として、全国ニュースの12時台、15時台、ニュース7、8日（月）のおはよう日本の7時台などで随時、報じております。

なにとぞ、ご理解のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

以上がNHKによる回答です。

結果として、当会の質問には全く回答していただけなかったので、8月6日のゴールデンタイムに本件の報道が省かれた理由も、午後6時と翌午前1時のニュース報道した際に「武器を搭載した船」に言及しなかった理由も知ることができませんでした。

確かに、翌7日、中国船のうち2隻が我が国の領海内に侵入した際には、午後7時のニュースも含めて取り上げるなど、NHKが本件にある程度の関心を払っていることは認められます。そうであればなおのこと、外務省が2度にわたって中国側に抗議をした当日に、午後7時からの30分のニュースで取り上げなかっことへの疑問が残ります。

また中国海警局の船3隻が外見上武器を搭載していた事実には、テレビ朝日やTBSは1分未満の報道の中でも触れている一方、NHKでは1分半の報道の中で言及しませんでした。このことがどういった判断によるのか知りたいところでありましたが、今回の回答では叶いませんでした。

個別のニュースや番組の編集判断についての質問に対しては、「放送の制作・編集についての自由が損なわれるおそれもあることから」答えない、という答えが従来からの定型文であるようです。しかしこうして、報道の編集判断についての質問を何もかも拒絶する姿勢は妥当なのでしょうか。

確かに、放送事業者には「編集の自由」があり、何人からも干渉されるべきでないとされています。しかし、限られた電波という公共財を用いる放送事業者に対し、視聴者が質問し答えを求める権利もあるはずです。ましてやNHKは国民の視聴料で成り立つ「公共放送」です。そのNHKが、番組の編集判断に対する質問の全てを「干渉」として拒絶するとしたら、

それは「編集の自由」という言葉のもとに、視聴者側の自由と「知る権利」とを否定することになるのではないか。どうか。

当会の質問は、例えば特定の芸能人の動向を伝えるべきなどといった手前勝手な要望に基づくものではなく、国の安全保障上の脅威をはらむ問題であり、外務省が1日の間に2度にわたって中国側に抗議をしなければならなかつたという重大案件について、明確な調べに基づいて質問したものです。これに対して全く見解を示さないのは、傲慢な姿勢であると言わざるをえません。NHKにおかれでは、是非この点の改善を求めたいと思います。

日本テレビに対しては、本件について8月6日に一切報道が無かったことについて理由を尋ねる質問を8月26日に致しました。これに対し、30日、日本テレビより『翌7日の午後6時からの「真相報道バンキシャ」では取り上げた』との回答が電話にてありましたが、8月6日に本件の報道がなかったことについては、追って担当部署より連絡するとのことでした。本稿作成時点（9月1日）では、追加の回答は届いておりません。

なお、同じく8月6日に本件について報道がなかったテレビ東京については、当日まとまった時間の報道番組がなかったことから、特に質問を送ることはしませんでした。

以上